

令和 7 年 2 月定例会 本会議において論点となった答弁内容の抜粋

【北大通と共栄新橋大通の直線接続について】

1. 市長は、全市的なまちづくり^①を考え、直線での接続が望ましいと考えている。
2. 市は、市長の考えを踏まえ、今後、直線での接続を基本^②に検討を進め、その熟度^③を可能な限り高めた上で、まちづくりと連携した釧路駅周辺のまちづくりのあり方^④などについて提案^⑤をする。
3. 市が示す提案に対する、市民の皆様のお考えにしっかりと耳を傾けながら、最終的な方針を決定^⑥したいと考えている。^⑦

【計画変更に対する北海道の見解について】

1. 北海道からは、これまでに
「北海道としては、直線でも L 字でも、どちらでも対応可能である」^⑧
「事業を前に進めるためには、鉄道高架の実現が、まちづくりにどのように寄与するのか、^⑨
また、その費用に対して十分な効果が生じるのか」^⑩が重要である」
等のご意見をお聞きしている。

【市民への情報提供や議会との協調について】

1. 市は、最終的な方針の決定に向け、引き続き議会において検討状況を報告する^⑪とともに、市民の皆様への情報発信などを積極的に行い、^⑫できる限り着工の遅延を短く抑えつつ、この事業を前に進めてまいりたいと考えている。

【住民投票について】

1. 市（市長）は、「住民投票を実施する」という決断はしていない。その手段を用いることで生じるメリット、デメリット等、様々な観点から「住民投票の実施は慎重に検討すべきである」^⑬と^⑭考えている。
2. 住民投票については、代表民主制を補完する役割^⑮を担うものと考えており、法令等において、住民投票制度が規定されていることから、決して代表民主制を否定するものではなく、状況によっては、その実施も視野に入ってくるもの^⑯と考えている。